

中央中学校区

地学協働通信 ウィズ

With

No.1 2026.8.25

地域学校 協働活動とCS

中央中学校区が
市のモデル校区に！

「地域学校協働活動」とは、子どもたちの学びと成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指すために、地域や保護者の皆さん、関係機関、大学生、NPO、企業等の幅広い地域の方々の参画を得て、緩やかなネットワークをつくり、地域と学校がパートナーとして連携・協働していく活動のことです。

江別市では、今後、「えべつ型コミュニティ・スクール（CS）」や小中一貫教育との連携も図りながら、中学校区で地学協働の取組をできることから少しずつ進めていくことになります。

その「江別市地域学校協働活動推進事業」のモデル事業が、今年10月から中央中学校区でスタートします。

それに先だって、6月24日（水）に対雁小・中央小・中央中の3つのCSによる合同学校運営委員会が開催され、モデル事業の説明・協議等が行われました。

EVENTS



前半は全体会で地学協働事業について、後半は学校部会で経営方針等についての熟議を行いました！



中央小子育て協議会

7/22
開催

自治会や学校運営委員、PTA役員、学校職員で情報交換しました！



中央小校区の自治会役員の方々や中央小PTA役員、学校運営委員の皆様、先生方が一堂に会し、「中央小子育て協議会」が開催されました。中央小は校区内にたくさんの自治会（11自治会）があることから、開校当初から学校と地域の連携を図るためにこの協議会が行われてきました。

当日は、学校側から学校経営グランドデザインについて、学力向上の取組について、生徒指導について、開校50周年記念式典について等の説明がありました。

また、地域自治会からは、子どもたちの地域での様子についての情報提供があり、学校と地域の情報交換や関係機関との連携の重要性等について、出席者全体で共有されました。貴重な意見交流が行われ、有意義な会となりました。

「With」とは？

中央中校区（対雁小・中央小・中央中）の学校と地域の連携・協働の取組等についてお知らせするお便りです。学校と地域、関係機関が一緒になって子どもたちの学びや成長を支えていくという「地学協働」の願いを込めて「With（一緒に）」と名付けました。

子どもたちの健やかな成長のために ～夏休み中の地域行事を通して心や体、思い出を育む～

7月25日（土）から8月24日（月）までが小・中学校の夏休み期間でしたが、中央中学校区（刈谷小・中央小・中央中）の自治会の皆様が、子どもたちのためにラジオ体操や夏祭り、盆踊り、花火大会等の行事を行ってくださいました。

ラジオ体操は、公園や中央中の校庭等を会場にして実施されています。各自治会の青少年育成部等の役員の方々が中心となり、音源の準備の他、交通安全指導や見守り活動等、安心・安全にも気を配りながら行っています。子どもたちは、小学6年生がリーダーとなって体操のお手本や押印の仕事等を行い、みんなで元気よく体操を行っていました。

夏祭り等は、カタヌキや輪投げ、くじびき、御神輿渡り等、子どもたちが楽しめたり、活躍したりできるような内容を自治会ごとに工夫してくださっていました。

これらの行事・取組は、幼児や小学生からお年寄りまでたくさんの方々が集い、夏の日の一時を一緒に過ごすことを通して、地域の絆づくりにつながっていきます。

EVENTS

ラジオ体操は、昔から夏休み中の子どもたちの体力づくりや規則正しい生活習慣の醸成に寄与するものです！



新栄台東自治会 ←

見晴台自治会 →



子どもたちにとって楽しい、そして、住民同士の交流が図られるような夏祭りや盆踊り、花火大会等、特色ある行事が開催されています！



向ヶ丘自治会 ←

中央町・中央町西自治会 →



中央中校区の他の自治会においても、子どもたちの夏休み期間中に様々な地域行事が行われています！

子ども支援の取組！ 中央中 学習サポート



中央中では、学習サポートの先生が1名配置されており、週3回、数学科や英語科の授業に入って教科担任の先生と一緒に子どもたちの指導をしてくださっています。また、週1回の放課後学習でも子どもたちの学習支援を行ってくださっており、先生の指導で学習の理解が進んだ子どもたちは、自然と笑顔になっていきます。

複数の指導体制で生徒の学習を支援し、学力の定着を図る取組として着実に効果をあげています。

学校とPTA・地域が協働して創る！

～対雁小 ワクワクふれあい祭り～



オープニングセレモニー



中央中吹奏楽部の演奏



たくさんの観客



地域のお店の出店



2,3年生PTA
スーパーボールすくい



1,4年生PTA
かたぬき&ストラックアウト



5年生PTA 射的



中学生ボランティア
の活躍

9月12日（土）に対雁小のワクワクふれあい祭りが開催されました。このお祭りは、毎年、対雁小PTA実行委員会が主催し、地域の自治会や有志の会、中学校等に協力をいただいて実施しており、まさに、「子どもたちの学びと成長を支えるための地学協働の取組」です。

学年PTAが「スーパーボールすくい」（2, 3年PTA）、「かたぬき&ストラックアウト」（1, 4年PTA）、「射的〜ピストルは2しゅるいあるよ」（5年PTA）、「まぜるとぶにぶに キラキラ&スライム 作っちゃおう！」（6年PTA）の各コーナーを担当しました。

また、新栄台西自治会が「くじびきや

エア玩具販売」、見晴台自治会が「カーリンコン」、いきいき行動隊が「昔遊びコーナー」を出店してくださいました。

さらに、対雁小ダンスクラブや「極真会館」、「はやし体操教室」、「豊太鼓」の演舞・演奏等が行われました。小中一貫教育の取組の1つとして、中央中学校の吹奏楽部の演奏や科学部の「ペットボトルロケット飛ばし&ジャンボシャボン玉体験」も行われ、中学生が活躍してくれました。

他に、大学生や野幌高校のボランティアによるブース運営への支援、キッチンカー等による物品販売もあり、幼児からお年寄りまでが楽しい一時を一緒に過ごすことができる素敵なイベントとなりました。

EVENTS

PTA・自治会・地域団体・中学校部活動・キッチンカー…たくさんの人が関わって創りあげ、盛り上げてくれました！！



6年生PTA
スライムづくり



中央中科学部
ペットボトルロケットやジャンボ・シャボン玉体験ブース



見晴台自治会
カーリンコン



新米台西自治会
くじびき・おもちゃ販売



極真会館の空手演舞



はやし体操教室の体操演技



豊太鼓の演奏



いきいき行動隊の
昔遊びコーナー



対雁小 ダンスクラブの発表



対雁小 チアクラブの発表

当日は、
石狩教育局の方が対雁
小の地学協働の様子を
視察にきました！



キッチンカー等の物品販売



江別の「中央」で地域と共に半世紀！ ～中央小 開校50周年記念式典・祝う会・PTA祭り～



学年ごとに趣向を凝らした発表をして、みんなで開校50周年をお祝いしました！



学校長式辞



江別市長祝辞



PTA会長祝辞



児童会書記局の発表

9月12日（土）に、全校児童と先生方、ご来賓の江別市長 後藤 好人様や、地域の自治会長の皆様、関係機関の方々が集い、中央小学校の開校50周年の記念式典が挙行されました。また、児童会書記局の子どもたちを中心とした「祝う会」も引き続き行われ、学校の歴史を振り返ったり、50周年記念クイズや学年発表を行ったりして、全校のみんなで中央小の50歳の誕生日をお祝いしました。

午後からは、「PTAまつり」が開催され、体育館でのステージ発表（中央中吹奏楽部、中央小ダンスクラブ、教職員有志バンド等の発表）や抽選会、縁日（スーパーボール・おもちゃすくい、ヨーヨー釣り）、物

品販売（揚げパンや焼き鳥、フランクフルト等）、ゲームコーナー（缶積みや射的、扇子投げ等）の出店等が行われました。

おまつりの運営には、中学生や大学生のボランティアが参画し、小中一貫教育や地域学校協働活動の取組としても大変意義のあるイベントとなっていました。

特に中学生の母校での活躍は、小学生にとっての身近な将来の目標・モデルとして今後につながっていくものです。

今回の開校記念式典や「PTAまつり」等は、子どもたちを「真ん中」にして保護者や地域の方、関係機関の皆様の絆を深める機会となり、地域とともにある学校づくりの重要性を再確認することができました。

PTA祭りの スナップ

中央中の吹奏楽部と中央小出身の生徒たちがボランティアとして活躍してくれました！



中央中吹奏楽部の演奏

迫力のある演奏に感動！



中央小 ダンスクラブ

高学年のクラブ活動で練習してきた成果を披露！



中央小教職員有志による
バンド演奏 (50★CTB)

先生方の演奏でお祭りの
フィナーレがとて盛り上がり
ました



ゲームコーナー
さかなつり 等



縁日(くじびきやスーパーボールすくい等)



中学生ボラン
ティアの活躍！



やきとりやパン等の物品販売



大学生ボラン
ティアの協力！

小学生、中学生、大学生、保護者、地域の方々と楽しく過ごしました！

中央中生が校区の小学校で活躍！

～中学生が地域学校協働活動の担い手となる取組～
～小中一貫教育における相乗的・補完的な指導の取組～



吹奏楽部の演奏（対雁小にて）



吹奏楽部の演奏（中央小にて）



科学部のペットボトルロケット実験ブース（対雁小にて）



出店運営のお手伝い（対雁小にて）



出店運営のお手伝い（中央小にて）



出店運営のお手伝い（中央小にて）



「With」NO 3,4に掲載していますように、中央中学校区内の2つの小学校のPTA主催行事に、中央中学校の生徒がたくさん参加しました。吹奏楽部は演奏を披露し、科学部はペットボトルロケットやジャンボシャボン玉の実験ブース等を運営しました。他に、射的やプラ板教室、ネイルアート等の出店のお手伝いも積極的に行っていました。

この中央中学校区の取組は、「小学生が中学生の活躍する姿を観て、近い将来の目標とする」「中学生が自己肯定感や自己有用感を高める」等、小中一貫教育の効果をより高めることにつながっています。

また、中学生にとっては、「校区内の小学校の行事の場で、日頃の学習や部活動で培った力を発揮し活躍する」ことによって、子ども自身が地域の担い手として活動するという貴重な経験をしていることとなります。さらに、小学生や小学校の先生方、保護者・地域の方々等、様々な人たちの交流を通してコミュニケーション能力や人間関係力が育まれていきます。

今回の中学生による地域学校協働活動への参加は、子どもたちの「学びと育ち」を支え、力を伸ばす好事例の取組となっていると言えます。

なりたい自分・夢を持ち、挑戦する！ ～後藤好人 江別市長との「夢授業」 中央小6年生のキャリア教育～



子どもたちの心に残る授業



休憩時間のふれあい



お礼の言葉



子どもたちへの問いかけ



温かな出迎え

9月25日（金）3，4校時に中央小学校で、後藤好人江別市長による6年生対象の「夢授業」が行われました。

市長の小学生の頃の様子や夢、市長の仕事や現在の夢、「幸せが未来へつづくえつ」を目指すまちづくり等について、スライドをもとにお話をしてくださいました。

市長の問いかけに、子どもたちが手を挙げて答え、休憩時間に子どもたちが市長を囲んで質問・交流する等、終始温かい雰囲気の中で授業が進んでいきました。

子どもたちは、市長のお話から夢を持つことや失敗を恐れず挑戦することの大切さについて学び、これからの小学校生活への意欲を高めたことと思います。

今回の授業は、中央小の6年生の子どもたちにとって貴重な学びの場となりました。

【子どもたちの感想】※一部を紹介します。

- 学校へ来て、いろいろなことを教えてくれてありがとうございました。市長さんの仕事のことたくさん聞けて、勉強になりました。改めて将来のことを考えるきっかけになりました。自分も市長さんのような立派な人になりたいと思いました。貴重な時間を使ってくれて、ほんとうにありがとうございました。
- 先日はありがとうございました。ぼくは「過ちては改むるに憚ることなかれ」という言葉が心に残りました。とてもぼくにとって、生かせそうな言葉でした。ぼくは建築士になるのが夢だけど、なれるかが心配だったので、後藤市長さんのお話を聴いてがんばろうと思いました。